

会員各位

佐賀県公立小中学校事務研究会
編集発行人 会長 鮎川慶一

会員の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。いよいよ冬本番の寒さとなってまいりました。体調を崩さずに年の瀬を乗り切りたいものですね。

さて、今回は人事異動交流で義務制から県立高校、県立図書館へそれぞれ異動になった二人の先生の近況を報告します。

『上司がいる会社にいるみたい・・・』

小学校から県立高校へ（異動後 2 年目）

Q. 人事交流（県・県立学校）にどのようなイメージをもっていましたか？また、異動後にギャップを感じることはありましたか？

A. 義務制にいるとき、県立学校は事務室に何人かの事務職員がいてわからないことがあったらすぐ聞けるので、いいなと思っていました。実際に高校に勤務してみても、その点はとても心強いです。県立に来て義務制とのギャップはありました。先生や生徒の雰囲気、仕事のやり方も全然違うと思います。あと、県の監査が毎年あるので、監査前はちょっと大変です。

Q. 義務制との仕事の違いは？（進め方、分担等・・・）

A. 高校の事務の仕事は、デスクワークが多いです。義務制のような児童・生徒との関わりはあまりありません。義務制では県→市教委→学校という流れですが、県立では県から直接、学校にくるので、義務制では市教委が行う契約なども、県立では 1 から行うことになります。最初からの流れが把握できて勉強になります。それぞれ担当の仕事が決まっていて、起案をして事務室全員に回覧し、決裁をもらうのは義務制と違うところです。義務制の事務職員では経験できない図書館の仕事も経験できて、楽しかったです。

Q. 学校や先生・生徒、事務室の雰囲気はどうでしたか？
（義務制との違いは？）

A. 先生方の人数が多くてはじめは名前を覚えるのに苦労しました。また小学生と高校生では接し方も全然違います。事務室は事務長さん、事務主任さ

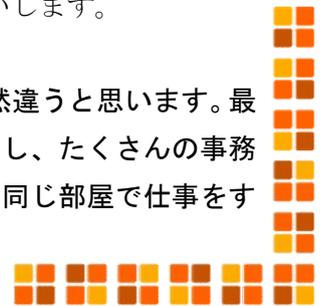
んをはじめ一部屋に5～6人いるので、最初は上司がいる会社にいるような感覚でした。同じ学校に事務の仕事のことを分かってくださる味方がいるのは心強いです。私もいつも助けてもらっています。

Q. ご自身が担当した仕事の中で、苦勞したり・達成感を得たのはどのようなことでしたか？

A. 旅費システムの入力は先生が個人で行うので、未入力の場合の入力の催促や、間違いがあった場合の訂正の催促をするのが大変です。職員が多いので出張や年休等も多いです。出勤簿や諸帳簿の整理も大変でした。また歳出で、自分で起案して業者選定、見積合わせ、契約書を取り交わし、締結する一連の行為が終わったときは達成感があります。自分で契約・購入した備品を使い勝手がいいと喜んでもらえたりすると嬉しいです。なかなかなじみのない委託契約も先輩や業者さんに質問したりして、勉強になりました。

Q. これから人事交流を希望する方等にアドバイスやメッセージをおねがいします。

A. 義務制と県立高校は同じ事務職員でも仕事のやり方や周りの環境も全然違うと思います。最初はギャップを感じますが、県立では研修の機会も多いので、視野が広まるし、たくさんの事務の方と知り合いになり、交流もあるので、楽しいです。先輩事務職員と毎日同じ部屋で仕事をすると、学ぶことも多くとても勉強になりますよ。



『1回の異動で、小学校・中学校・高等学校を経験できたことは、正直チョット得した気分』

小学校 → 県立中学校 → 県立図書館（今年度より）

平成17年度の新規採用から2年間唐津市立呼子小学校でお世話になりました。

いきなり一人で仕事をするという不安の中、小学校を訪ね、前任者の方にいろいろお話をお伺いしたのを懐かしく思い出します。小学校の皆さんも、年度末の忙しさに加え、3月末の福岡西方沖地震で普段以上にお忙しいにもかかわらず、歓迎して下さったのを憶えています。

一人で仕事をするという不安の中、それでも2年間勤めることができたのも、同じ学校の先生方はもちろん、近隣の学校の先生や前任の先生、先輩・同期のみなさまなど、周りの皆様のおかげです。ありがとうございました。



私にとって、あの2年間は、さまざまなことを学ばせていただき、その後の仕事を行ううえで、考え方のベースとなり、大変有意義なものだったと思っています。

実は、本年度から佐賀県立図書館勤務となったのですが、いまだ勉強中の身で、あまりコメントできそうにありませんので、その前の所属の話をしてください。

平成19年度に唐津東高等学校・中学校の中学校事務として異動となり、3年間勉強させていただきました。

中学校ができてまだ2年目であるため、さまざまな教材物品をそろえること、平成19年度から本格的に始まったホームページを使った入札の公告、佐賀で行われた高校総体、新校舎への移転と、県立学校1年目で戸惑う中でしたが、いい経験をさせていただきました。

県立学校では、施設にかかわる仕事（補修、増築、移転、管理など）、委託業務（学校警備の契約、ごみ収集の契約など）、県立学校の地域ごとの単価契約業務、契約を結ぶに当たり行う入札の手続き、授業料徴収と減免申請、卒業証明書等の諸証明発行、入学試験申し込みに関わる事務など、今まで行ったことのなかった仕事がありました。そのすべてを担当者として経験したわけではありませんが、それらを通じて、また新たな考え方を見る機会となり、大変勉強になりました。



もちろん、小学校を経験していて良かったと思うことも多くありました。例えば、就学援助事務は、中学校ができたばかりということもあり、「それは知らない」という感じの雰囲気の流れでした…。私も未熟ですので、唐津市の小中学校の事務の方々には、ご指導等とても助けていただきました。ありがとうございます。

他に県立学校で感じたこととして、同じ学校に同じ職の人間がいるという強みのような、心強さのようなものを初めて感じました。

環境も違っていました。前の小学校と異なり、職員用パソコンが、基本、学校で準備するのではなく、県で一括して準備（事務分は情報課、教員分は教育政策課が準備）されていて、壊れても担当課に持っていけば代替機を借りられ、業務になるべく支障がないようになっていました。予想がしがたい修理の予算を想定しないでいいということは、正直「楽」という意味でいいシステムだと思いました。

2週間ですが、研修として、名護屋城博物館にも参りました。通常業務と平行しての研修でちょっときつかったですが、学校とは異なった業務を体験でき、今思えば、いい経験をさせていただきました。

私事になりますが、唐津東中学校3年目から学校事務等いろいろな職種の人たちで集まってバスケットを行うようになりました。仕事とはまた異なった刺激を受けつつ、異なる仕事の方々の会話は、新鮮でした。

今思えば、1回の異動で、小学校・中学校・高等学校を経験できたことは、正直チョット得した気分です。中学校は、県立学校でしたが、地元の中学校の先生方もいらっしゃって、その先生方のお話をいろいろお伺いできたのも大変勉強になりました。



いろいろな組織の仕組みの比較をするとおもしろいことがある、と感じられた事も貴重に思います。小さな例で申し訳ないのですが、小学校で利用していた送便を、当時の県立学校は使用しておらず、郵便を利用していました。総合庁舎に棚を置いてもらい、用務員さんが外回りに行く時に発送・收受をしてもらうようにしました。



そして、今年度から佐賀県立図書館に異動となりました。

仕事内容が、今までとガラリとかわり選書業務等となり、また、土日祝日も当番勤務の場合があり、初めて知事部局の方々と一緒に仕事をする、自分で通勤手当等をパソコンで申告し、決裁をパソコンのシステムで行うなど、かなり戸惑いましたが、最近やっと慣れてきたかな?と思えるようになってきたところです。

毎週水曜日に図書館でどの本を入れるかを決める会議に向けて、選書を行っています。もともとあまり本を読む習慣がないため、悪戦苦闘しているところです。

お近くにお越しの際は、ぜひ、県立図書館もご利用ください!!

図書館のブログもごさいます。図書館はどのようなことを行っているのかを見ることができる内容も多くごさいますので、是非ご覧ください。

アドレスは、<http://sagakentosyo.sagafan.jp/> です。

粗末な文章・稚拙な経験を書き綴ってしまい、大変申し訳ないところです。最後までお読みいただきありがとうございました。

お知らせ

これからの大会アンケート結果公表について

貴重なご意見をいつもありがとうございます。これまでは佐事研だよりの中で集計結果を公表しておりましたが、これからは佐事研会員専用ページのWEBアンケートにて結果をご確認下さい。

◆ 編集後記 ◆

今後とも、皆さまにより良い情報をお伝えしていきたいと思っていますので、投稿したい原稿やご意見・ご感想がありましたら、各地区の調査広報部員までお願いします。

唐津地区、伊万里・西松浦地区 担当 調査広報部員